

國立台灣大學 Neurobiology and Cognitive Science Center 主催

2007 年度 summer training course に参加して

大学院3年 山田 健太郎

私は平成 19 年 7 月 31 日～9 月 1 日までの約一ヶ月間、國立台灣大學 Neurobiology and Cognitive Science Center 主催の summer training course に基礎科学の習得、及び語学能力の上達を目的として参加しました。

参加学生は台湾大学の修士課程、博士課程の学生を中心に総勢24名で、10班に分かれ、

- (1)Brain structure, gross anatomy and histology (2) Neuronal culture
- (3)Neural connection (4)Neuronal activities by fluorescent probes
- (5)Calcium imaging (6)Field potential recording of the brain slice
- (7)Forebrain neuronal activity and motor behavior (8)Dopamine and behavior

以上8項目を約一ヶ月間かけて実習し、途中と最後には実習内容に関してのプレゼンテーションがありました。各実習の説明及びプレゼンテーションは英語で行われ、日本語しか得意ではない自分としては、苦手な英語でしかコミュニケーションがとれないことが一番苦労した点でした。

台湾の学生達はとても親日的で、言葉があまり通じなくても友達はたくさんでき、帰国する際にはお別れ会を開いてくれたりしました。

現在自分がやらせていただいている研究・分野以外の基礎科学を、一ヶ月という短期間ではありませんが、集中的に学ぶことができたことや、母国語を話せない環境で、外国の人達・学生と交流を持つことができたことはとても良い経験になったと思います。この経験をいかし、今後の研究活動に役立てたいと思います。



お別れ会



親友? の郭宗明(左)と山田(右)